

つげっと夏祭り



教育文化部会



柘植地域 まちづくりだより 第173号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
(柘植地区市民センター内)

伊賀市柘植町一〇六四七番地

〒五二九一四〇二

電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三

発行日 二〇一六(平成二十八年)九月一日(木)

第3回を数えることになった「つげっと夏祭り」が8月11日(山の日)の午前10時から午後3時まで開催され、小学生ら約15人が川遊びなどを楽しみました。場所は、例年通り、上町区にある柘植川の川原で実施しました。

リーダーの坪健治さん(岡鼻区)の指導の下、みんなでラジオ体操をしてから、発泡スチロールを組み合わせて作った「いかだ」で川下りを楽しんだり、自分たちで作った水鉄砲や竹とんぼで遊んだりしました。

また、竹の弓矢で対岸の的を当てる競争やシャボン玉遊び、しのだけ鉄砲遊びなど、昔の遊びにもそれぞれが挑戦しました。

お昼にはボランティアさんが作ってくれたカレーライスを食べた元気がいっぱいになり、夏休みの一日を満喫していました。

柘植川でみんなと遊ぼう



昔の遊びを教えてください

目からウロコの

黒豆栽培視察

特産品創出実行委員会

7月29日(金)、実行委員10名が兵庫県宍粟市にある兵庫西JAへ先進地視察に行ってきました。午前中は、JA職員の方から手間をかけずに良品の黒豆を栽培する目安となる「栽培こよみ」をていねいに教えていただき、これまでの自分たちの栽培方法との違いに気づかされると



ともに、高齢者等による作業賃金のありようなど、目からウロコの研修となりました。

実際に黒豆栽培団地に行つて圃場を見学させていただき、作り手の方(下写真)から詳しいお話しをうかがうことができました。



丹波産の黒豆が全国的にも有名ですが、栽培方法や販売実績などは、「兵庫県産」と表記されているのは、ほぼ兵庫西JA管轄の産品だそうです。

今回の研修を活かして、特産品創出実行委員会が進めている黒豆栽培や販売についても、良品産出はもちろんです。労働や雇用問題をふまえた「地域づくり」の一助としていきたいと考えています。

黒豆購入予約ありがとうございます

たくさんのおみなさんから、60セットを超える購入予約をいただきました。「お正月が楽しみです」との声を励みに、委員会としても黒豆の栽培収穫をめざしていきたいと思っております。この紙面を借りてお礼申し上げます。

第1次〆切は過ぎましたが、申込みは受け付けておりますので、引き続きご協力をお願いします。

いがまち同研

発足五十周年

昨年度、第40回記念大会を終えたいがまち同和教育研究大会ですが、今年と同研組織設立から半世紀となる節目の大会となりました。

8月19日(1日目)は「佐野有美トーク&ライブ」歩き続けよう・・・わたしが障がい語るなら」が470名参加のもと、ふるさと会館で、20日(2日目)は3つの分科会「①わたしと部落問題」「②わたしにとつての障がい者差別」「③わたし自身を見直す」に分かれて、それぞれ研修をしました。

佐野有美トーク&ライブ
わたしが障がい語るなら



それぞれの課題を洗い出し、共有しよう

いつまでも、笑って元気に生活するために

健康の駅長



8月23日(火)午後1時半から、市民センターにおいて、37名の参加者を得て健康講演会が開催されました。

第1部「笑いヨガ」(講師の藤川直紀さん)では、座りながら手を上げ下げしたり、言葉の末尾にホホホと笑い声を入れて話をしたりしました。自分の感情を声に出して相手に伝えることで気持ちを高ぶらせてみるなど、講師の表情豊かで明るく楽しい指導で、終始笑いが満ちあふれ、参加者みんなで盛りあげられました。

第2部「いつまでも元気で生活するために」(岡波総合病院の看護師市川智子さん)の講演では、転倒防止のための筋力を強化する運動方法やバランスを強化する運動を教えてくださいいただきました。



認知症の自己チェックとしては、何種類かの動物の名前がいえるか、認知症の予防法としては、ウォーキングや水泳等の有酸素運動をすること、野菜や果物、魚を食べること等が有効であるということも事例を通して詳しく教えていただきました。

☆暑い時期のおすすめ☆



塩分控えめ、野菜たっぷり料理

♫ 男の料理教室

8月6日(土)、いがまち保健福祉センターで20名の参加者の皆さんが腕をふるいました。暑い時期でもあり、つい食事を冷たいものや簡単なもので済ませがちになってしまいます。このような時期こそ栄養があり、バランスの良い食事が必要です。

そこで今回は塩分控えめで野菜たっぷりの料理を食生活改善推進協議会の宮島さん梅川さんに教えていただきました。

オープンいなり
簡単ナムル
鮭のちゃんちゃん焼き風
とん汁
カラフル白玉のぜんざい

レシピはまち協事務局にあります

シャキーン

毎回、皆さん和気あいあいと料理を楽しんでいますので、興味のある方はぜひ連絡を下さい。次回は10月8日です。参加をお待ちしています。

(健康の駅長 平野努)

特集

柘植地域の公共施設

現在、柘植地域『まちづくり計画』改定に向けて、各部会や運営委員会等で、様々な観点から議論をしていることはお伝えしているところです。その計画づくりの過程では、地域の5年先10年先を考えて検討をしていく予定です。

これまで当地域としては、12区がそれぞれの集会所等を活用拠点としてきました。また、柘植地域全体に関わることについては、柘植地区市民センターをはじめ、柘植公民館やいがまち人権センター、保育園・小中学校などの公共施設を活用して進めてきました。

ところが、伊賀市合併後、「公共施設は、伊賀市の人口や面積の割には多すぎる」との観点から『伊賀市公共施設最適化計画』（平成27年3月）に基づいて施設の複合化や廃止が進められています。

まちづくり協議会としてはそうした伊賀市の動きと連動させる中で、今後の地域活動のありようを見出していくことが欠かせない時代であると認識しています。

そこで、このたび住民の皆さんに、柘植地域にある公共施設に改めて目を向けて頂くために、公共施設の特集を数回に分けて組むことにしました。

その1 **柘植小学校**

柘植小学校（延床面積6142㎡）は、現在、各学年1学級ずつで全校127名の児童が登校しています。



本校が大切にしていく活動の一つに、全校集会での友だち発見コーナーや、児童会活動の発表などを工夫しお互いを理解し受け入れあう、前向きなトーンの学校づくりに努めていることがあります。年に2回開催するT1グランプリでは、子どもたちによる漫才コンテストを行い、人を傷つけず、みんなが笑顔になるためのコミュニケーション力を養っています。



地域の方にも参観もしていただき、笑いで地域を明るくする一助にもなっています。また、「柘植小フェスティバル」と呼んでいる学習発表会では、人権総合学習で学んだことを笑いあり涙ありの劇にして伝えていきます。

柘植地域まちづくり協議会の教育ボランティアさん、地域のみなさんによって、

あいさつ運動、行事の見守り、図書ボランティアさんによる読み聞かせ、春・秋の吟行など学校の教育活動を支えていただいています。

今後も地域に向けての情報発信などを通して、柘植小学校に関心を持っていただきたいと思えます。

○●事務局だより○●

▼現行『まちづくり計画』の評価、概要版がほぼ完成しました。9月中旬には住民の皆様にお届けします。▼旧柘植保育園の跡地活用については、7月の住民懇談会以降も市当局と懇談をもっています。いまだ結論が見いだせておりません。ご心配をおかけしておりますがご理解願います。（西田方計）

お知らせ

別紙、ご参照ください

合同防災訓練

10月2日(日)午前8:30~

各家庭⇒避難所(地域内4か所)

斎王群行

10月10日(月)12:30~

都美恵神社境内(上村・前川・山出コース)

議会報告会 <詳細は後日連絡>

10月27日(木)午後7:30~

柘植地区市民センターホール